

田植えの予定決定

酒づくりの第一歩となる酒米「都」の田植えを下記のように行うことにしましたのでご連絡いたします。今年の活動のスタートでもありますので友人、知人又ご家族お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。にぎやかに、楽しくやりたいと思います。なお、田植えの田圃は昨年同様旧山手村西郡の田圃で行います(下の地図参照)

1. 田植え

① 日時：6月14日（日）午前9時より、雨天決行。

② 集合時間：午前8時30分（現地）。

③ 集合場所：現地（公民館＝西郡公正館）。

現地がわからない方は三宅酒造北側の県営駐車場に8時20分までにおいで下さい。同行します。交通機関が公共機関しかない方はご相談ください

④ 参加申し込み締め切り：6月9日（火）。メールにて早めにご連絡ください。

⑤ 参加申込先：三宅酒造(株) 小沢

⑥ その他

(ア) 昼食、懇親会兼用でカレー、焼き鳥と多少の飲み物は用意します。その他の飲食物については各自で用意ください。ジュース等幼児用の飲食物は各自で用意ください。

(イ) 社会情勢に鑑みアルコール飲料は用意いたしません。

(ウ) 田植えは手植えで行います。参加人数にもよりますが1～2時間程度かかる予定です。田植え終了後、懇親会兼昼食とします。

(エ) トイレ、更衣等は田圃の近くの公民館（西郡公正館）を借用します。

2. 参加費用

① 第18期生、農業公社関係者、幼児：無料、その他：300円

3. その他注意点

① 準備の都合上、参加の有無の連絡は必ずお願いします。（欠席の場合も連絡願います）

② 裸足で田圃に入りますので着替え、多少の切り傷、擦り傷の手当のできるもの（消毒液、バンドエイド程度）は各自でご持参ください。

③ 紫外線も強くなっています。長袖、長ズボンの着用がベターです。帽子も忘れずに。

④ 当日、迷子になったら「090-1334-3918（小沢の携帯です）」に電話してください。何とかします。

4. 田植え後の予定（詳細は未定です）

- ① 草取り：6月下旬もしくは7月上旬。必要に応じ実施します。
- ② 石包丁作成：8月。今年も種籾採取は弥生時代を模倣し、穂を打製石器＝石包丁で摘み取るよう計画しています。
- ③ 稲刈り、種籾採取：10月上、中旬



三宅酒造(株) 小沢 慎

岡山県総社市宿355

TEL&FAX 0866-92-0075

E-mail s-ozawa1001@mx1.tiki.ne.jp

「都」の説明

18期は新入生も多いので「都」の解説をしておきます。大正6年3月発行の岡山県立農事試験場の臨時報告第18報「稲品種の説明」によれば「都」は嘉永5年（ペリーが浦賀に来た前年）に山口県玖珂郡の内海五郎右衛門という人が京都地方へ旅行中路傍で発見し、それを持ち帰って栽培したのが始まりとされている。草丈は3尺7、8寸に及び背が高い。玄米は山田錦や雄町と同様大粒（玄米1000粒で30g弱、一般のお米は25g以下）で心白があり酒づくりには適した品種である。